



福井大学 (福井県)



学校の課題を実践的に解決し、高い教師力を目指す

◇大学紹介

○大学の概要

本学は、教育学部、医学部、工学部、国際地域学部の4学部、及び、大学院福井大学・奈良女子大学・岐阜聖徳学園大学連合教職開発研究科(以下、教職大学院)、大学院医学系研究科、大学院工学研究科、大学院国際地域マネジメント研究科の4研究科からなる。教員研修留学生が所属する教職大学院には、教職開発専攻がある。

福井県は、日本のほぼ中央に位置し、美しい自然と豊かな文化遺産に恵まれたところである。日本海に面し、古くは大陸諸国と都を結ぶ玄関口として重要な位置を占め、その長い歴史と伝統、そして四季折々の変化に富んだ美しい自然は、日本の典型的な風情を漂わせている。



○国際交流の実績

・過去3年間の留学生の受入れ実績

- 2021年度: 140名
- 2020年度: 174名
- 2019年度: 228名

・過去3年間の教員研修留学生の受入実績

- 2021年度: 3名
- 2020年度: 3名
- 2019年度: 1名

◇教員研修コースの概要・特色

○研修コースの特色

- ・学校の課題に協働で継続的に取り組み、省察的実践力を通じた専門的力量を形成する。

○受入定員 3名

○研修コースの概要

- ・日本語教育
 - 福井大学語学センター日本語研修コース
期間: 2022年10月～2023年3月
概要: 6か月間の日本語集中授業を行うコース



日本語研修コース修了式

- 留学生向け日本語科目
期間: 2023年4月～2024年3月
概要: 日本語学習の継続を希望する者は、留学生向け日本語科目を受講することができる。



〈ラウンドテーブル〉
県内外の教育、行政、福祉などの関係者が分野を超えて実践している取り組みを紹介し、交流する。

・専門教育

- 期間: 2023年4月～2024年3月
- 補講: 毎週、指導教員による個人指導を受ける

・実習・見学・地域交流等の参加型科目

- 本学の教育学部附属義務教育学校で教育実習見学
- 地方自治体や民間団体主催の各種見学会等の案内・実施

・日本人学生との共修の機会

- 教職大学院では週に一度、教員・日本人学生・留学生を交えたカンファレンスを行い、教職専門性の開発・発展を支援している。

◇修了生へのフォローアップ

本学では、留学生同窓会をアジアを中心に現在までに17支部設立し、各国支部と連携している。その活動を推進するために、国際センターネットワーク誌「こころねっと」を発行し、帰国留学生と情報交換を行っている。

◇宿舎

留学生会館

寮入居期間: 1年間(2022年10月～2023年9月)
※2023年10月～2024年3月は民間アパートへの入居となる。



○居室数

- ・居室A 2室
- ・居室B 2室

○宿舎費

- ・居室A 14,600円/月
- ・居室B 17,400円/月

寮から大学までの通学路



入寮費: 20,000円
管理費: 3,000円/月
(水道光熱費は別途)
(インターネットは別途契約)

○宿舎設備・備品

- ・居室設備: ミニキッチン、冷蔵庫、食器棚、ダイニングテーブル、ユニットバス、トイレ、ベッド、机、イス、たんず、電気スタンド、本棚、エアコン
- ・共用設備: 洗濯機、乾燥機(各1回100円)
- ・宿舎は自分の居室を含め全館禁煙

○宿舎周辺の生活情報・通学時間

キャンパスまで徒歩7分。最寄りの電車の駅までは徒歩3分。周辺にはスーパーマーケットやコンビニ、銀行、郵便局などがある。

◇問合せ先

大学所在地: 〒910-8507

福井市文京3-9-1

担当部署: 福井大学学務部国際課

TEL: +81-776-27-8406

FAX: +81-776-27-9715

E-mail: gk-iadexchange@ml.u-fukui.ac.jp

大学のホームページ: <https://www.u-fukui.ac.jp/>



大学名： 福井大学（大学番号20）

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

受入研究科等名	福井大学・奈良女子大学・岐阜聖徳学園大学連合教職開発研究科						
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件（語学能力、専門能力等）、受入実績（過去5年間の受入国、人数）
20001	柳澤 昌一 教授	yanagi@f-edu.u-fukui.ac.jp	教職開発 生涯学習学	<p>福井大学大学院教育学研究科教職開発専攻は、教師のための専門職大学院である。教師が専門性を獲得するためには、教師が実践一省察一再構成のサイクルに身を置き、学校自体を「学びのコミュニティ」に再構築することが重要である。</p> <p>そこで、福井大学では、世界に先駆け「学校拠点方式」を実施している。「学校の抱える課題を、学校で、学校の同僚教師と協働して解決する大学院」をモットーに実践的な教師教育を進めている。学校で生じる課題について、大学教員と当該学校の教員が協働して取組み、そのプロセスを協働省察し実践研究としてまとめ、他大学等の交流の場（ラウンドテーブル）で、内容を深めている。</p> <p>大学教員には様々な専門分野の教員がおり、チームティーチングを行いながら学問の壁を超えて実践研究を積み重ねている。</p> <p>留学生は大学教員とともに学校現場に出かけ、授業研究を進めるとともに学校での実習も経験する。</p>	英語、日本語	3名	<ul style="list-style-type: none"> ・当該国で小・中・高等で教員歴があること。 ・日本の学校教育にかかわることから、日本語習得済み、もしくは期間中に日本語を習得する意思のあること。 帰国後は当該国での教育及び教師教育に貢献する意思のあること。 ・帰国後、当該国と日本の教師教育研究の交流に尽力する意思のあること。 （ブータン4名、オーストラリア1名、コロンビア1名、インド1名、カンボジア3名、コンゴ民主共和国1名、グアテマラ1名、ミャンマー1名、マレーシア2名、ナミビア共和国1名、メキシコ1名：計17名）
20002	木村 優 教授	u-kimura@u-fukui.ac.jp	教職開発 教育方法学 心理・教育学				
20003	岸野 麻衣 准教授	m-kisino@f-edu.u-fukui.ac.jp	教職開発 幼児教育				
20004	半原 芳子 准教授	yoshikoh@u-fukui.ac.jp	教職開発 言語教育				
20005	笹原 未来 准教授	sasahara@u-fukui.ac.jp	教職開発 障害児教育（学）				
20006	高阪 将人 准教授	kosaka@u-fukui.ac.jp	教職開発 理数教育				
20007	隼瀬 悠里 准教授	y-havase@u-fukui.ac.jp	教職開発 教育科学				
20008	遠藤 貴広 准教授	endo@u-fukui.ac.jp	教職開発 教育方法学 カリキュラム開発				